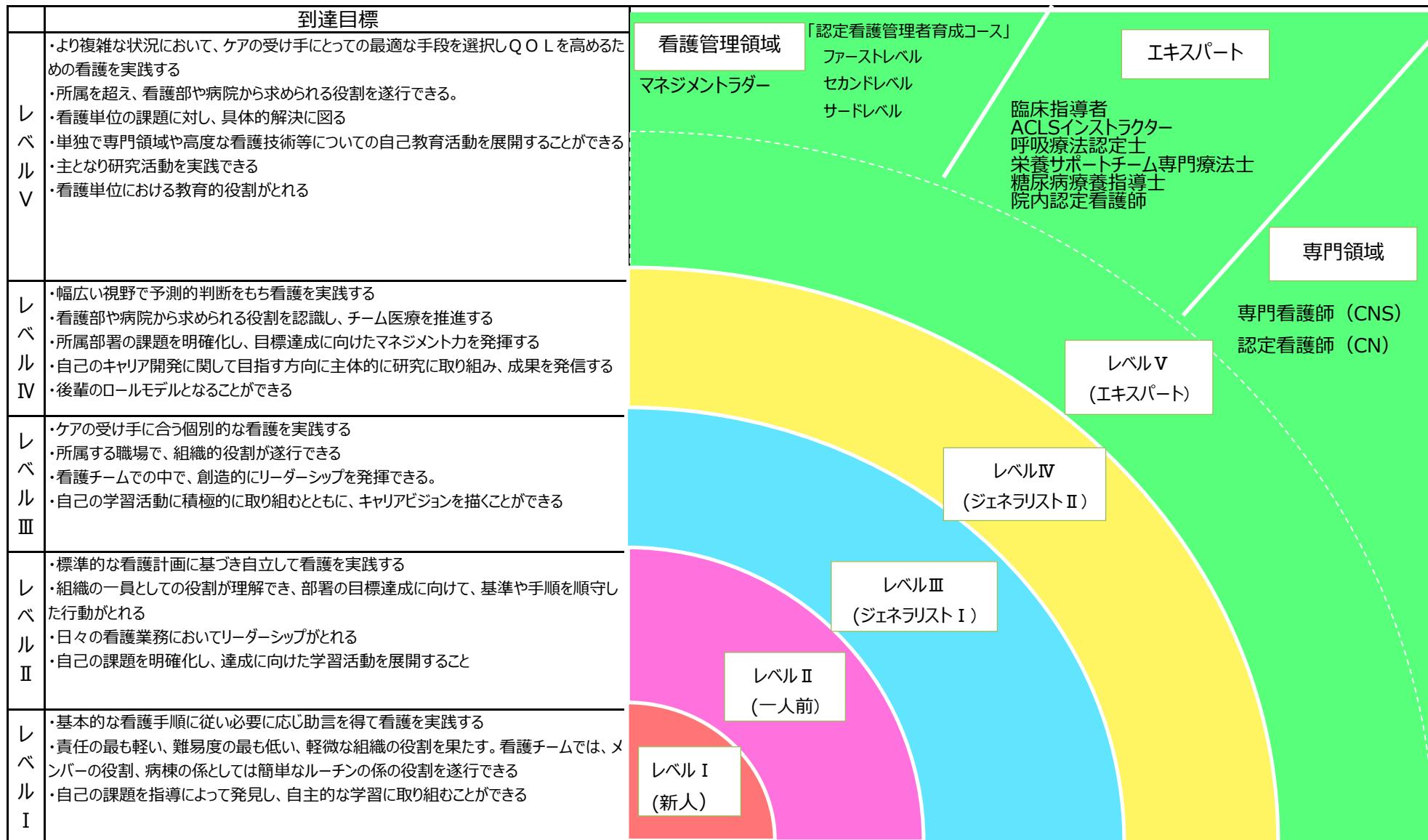


キャリアラダー概念図



千葉市立病院キャリアラダー 臨床実践能力の構成

構成する能力	定義
看護の核となる実践能力	看護師が論理的な思考と正確な看護技術を基礎に、ケアの受け手のニーズに応じた看護を臨地で実践する能力
ニーズをとらえる力	ケアの受け手をとらえ、判断し、その人に適した方略を選択する
ケアする力	ケアの実施・評価を行う (PDCAサイクルや看護過程の展開)
協働する力	ケアの受け手を中心に、情報やデータを多職種間で共有し、ケアの方向性を検討、連携する
意思決定を支える力	ケアの受け手が立ち会う場面（治療、最後の迎え方等）において、その人らしい選択ができるための意思決定を支える
組織的役割遂行能力	組織の一員としての役割を認識し、組織目標達成のための責務を果たしていく能力 看護チームなどの最小組織から、看護部、千葉市立病院、地域での役割遂行能力を意味する
チームワーク力	ケアの受け手やチームメンバー（他の職員）とコミュニケーションを図り、良好な関係を築く
教え育む力	様々な場面を学びの場と捉え、互いに認め合い、共に成長する
創造し改善する力	組織の安全、目標、コストを管理し、また、現状に満足せず、先取的に課題を捉え、人や組織を巻き込み、改善・改革する
自己教育・研究能力	専門職業人としての自己の知識・技術や能力を高め、さらに、看護を論理的・客観的・実証的に追い求める能力
学び続ける力	専門職として、自らの責任で継続的・積極的に自己の能力開発に取り組み、自己実現を図る
セルフコントロールする力	ストレスを感じるような場面であっても感情をコントロールし、仕事と生活と学習の調和を保ち、自己のストレスマネジメントをうまく機能させる
内省力	常に実践を振り返り、それを過去の経験や理論と連動させ、意味づけることにより、新しい知識と統合して、成長する

用語の定義

語句	意味
創造的	それまでにない新しいものをつくりだしていくさま
ワークライフハーモニー	幸せに生きるための仕事と生活の調和。「何時まで働くか」ではなく、現状の中で「どのように働き」、「どう幸せに生きるか」を考え、仕事でも満足を得ながら生活を豊かにしていく
ファシリテーション	会議やプロジェクトなどの集団活動がスムーズに進むように、また成果が上がるよう支援することをいう。会議の場面の例では、質問によって参加者の意見を引き出したり、合意に向けて論点を整理する。働きかけにより、メンバーのモチベーションを高めたり、発想を促進すること。
俯瞰（ふかん）	高いところから見下ろす
顕在的（けんざいてき）	はっきり形に現れる